



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 ウシオ電機株式会社

コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 菅田 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 神山 和久

TEL 03-3242-1811

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	110,683	3.3	9,024	△16.8	10,261	△19.0	7,151	△16.3
23年3月期第3四半期	107,143	26.0	10,845	134.0	12,668	103.5	8,539	87.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 823百万円 (△59.4%) 23年3月期第3四半期 2,030百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	54.05	—
23年3月期第3四半期	63.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	204,619	152,463	73.8
23年3月期	217,292	157,867	71.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 150,921百万円 23年3月期 156,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	22.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	6.8	13,000	△7.4	15,000	△13.6	10,000	4.4	75.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	139,628,721 株	23年3月期	139,628,721 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	8,498,679 株	23年3月期	6,086,575 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	132,323,589 株	23年3月期3Q	133,545,160 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済を顧みますと、東日本大震災の影響により厳しい状況にある中で、欧州を中心とする金融不安等により円高が高水準に推移いたしました。さらにタイ洪水などの影響もあり、輸出の減少から企業収益の低下やそれに伴う民間設備投資の低迷が続きましたが、期後半には生産活動を中心として緩やかながら持ち直しつつあります。

海外におきましては、米国経済は住宅需要や個人消費の低迷に持ち直しが見られ、雇用環境も改善しつつありましたが、欧州経済は各国財政問題に端を発した金融不安が継続しております。アジア経済におきましても、中国やインドなどは内需を中心に景気が拡大したものの、成長率の鈍化により下振れ懸念が強まりました。

このような経済環境のもと、当社グループの関連市場において、映像機器関連市場では、世界中で映写機のデジタル化や投資スキームの活性化もあり、デジタルシネマプロジェクタやシネマプロジェクタ用クセノンランプは引き続き堅調に推移しております。

一方、液晶・半導体関連市場では、スマートフォンやタブレット端末のマーケットの拡大は続いているものの、液晶テレビやパソコンの需要は減速・低迷しており、DRAMやフラッシュメモリの他、特に液晶パネルの価格下落は著しく、設備の稼働や投資を抑制する動きが見られました。

以上のような状況の中、当社グループでは、生産性の向上や製造コストの低減、経費の圧縮、海外展開強化に向けた販売体制の整備・拡充、適地生産の促進等、引き続き、全グループを挙げて業績の向上に注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高で前年同期比3.3%増の1,106億8千3百万円、営業利益で前年同期比16.8%減の90億2千4百万円、経常利益で前年同期比19.0%減の102億6千1百万円、四半期純利益で前年同期比16.3%減の71億5千1百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(光源事業)

光源事業におきましては、シネマプロジェクタ用クセノンランプが引き続き堅調に推移いたしました。一方、露光用UVランプのリプレイス需要が低迷したほか、データプロジェクタ用ランプ及びハロゲンランプも景気低迷の影響を受けました。

その結果、売上高は前年同期比10.1%減の392億9百万円、セグメント利益は前年同期比12.2%減の57億7千9百万円を計上いたしました。

(装置事業)

装置事業におきましては、映像装置分野ではデジタルシネマプロジェクタとともに各種のノンシネマ製品も堅調に推移いたしました。光学装置分野では液晶・半導体等の市場動向の影響を受け、液晶・半導体関連、LED関連、その他電子部品関連の製造装置の販売が低迷いたしました。また、EUV光源装置をはじめとする研究開発投資が先行いたしました。

その結果、売上高は前年同期比12.2%増の693億1千8百万円、セグメント利益は前年同期比26.9%減の30億1千9百万円を計上いたしました。

(その他事業)

その他事業の産業機械関連製品におきましては、食品包装市場の設備投資需要は順調に推移いたしました。射出成型市場においては低調に推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比16.8%増の24億1千7百万円を計上し、セグメント利益は前年同期比14.0%減の9千4百万円を計上いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,046億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ126億7千2百万円減少いたしました。主な増加要因は、余資運用による「有価証券」の増加であります。主な減少要因は、「受取手形及び売掛金」の減少、関係会社株式の売却及び株式市況の低迷による「投資有価証券」の減少であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、521億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億6千8百万円減少いたしました。主な減少要因は、「支払手形及び買掛金」の減少、株式市況が低迷したことによる「投資有価証券」の含み益の税金部分であります「繰延税金負債」の減少であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,524億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億4百万円減少いたしました。主な増加要因は、当第3四半期連結累計期間に獲得した「利益剰余金」であります。主な減少要因は、円高による「為替換算調整勘定」の減少、配当金の支払いによる「利益剰余金」の減少及び自己株式の取得による「自己株式」の増加であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境を展望いたしますと、世界経済はアジア地域を中心として緩やかな景気回復傾向が続くと見込まれますが、欧州の財政・金融問題が世界の金融市場に影響を及ぼすことによる景気の下振れリスクが懸念されるなど、今後の先行きについては依然不透明な中に推移することが想定されます。

市場動向といたしましては、映像機器関連市場においてはデジタルシネマプロジェクタやシネマプロジェクタ用クセノンランプ及びノンシネマ製品が引き続き堅調に推移すると想定されます。また、液晶・半導体関連市場をはじめその他電子部品関連市場においてはスマートフォンやタブレット端末などの需要拡大に加え、一部の半導体メーカーが積極的な設備投資計画を発表する等回復が期待されるものの、依然として調整局面にあり、設備稼働や設備投資環境は厳しい状況が継続し、露光用UVランプや光学装置の需要は低調に推移するものと推測されます。

このような情勢下におきまして、当社グループは重点事業である「映像・画像事業」「固体光源事業」「高密度実装事業」「露光事業」を中心に、強みである光源・光学技術を最大限活用した最先端分野での研究開発の推進等、生産・販売・開発の全てにわたり諸施策を鋭意推し進め、グループ全体の更なる事業基盤強化を図ってまいります。また、現在の厳しい市場環境に対応すべく、引き続き徹底した製造・管理コストの低減、新製品の開発や新規分野への用途開拓、新規事業の展開を積極的に進めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,496	35,907
受取手形及び売掛金	34,300	30,768
有価証券	8,447	11,420
商品及び製品	23,065	21,294
仕掛品	6,675	8,711
原材料及び貯蔵品	9,766	9,924
繰延税金資産	4,593	3,939
その他	5,805	7,089
貸倒引当金	△419	△427
流動資産合計	130,730	128,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,231	31,118
減価償却累計額	△15,523	△16,468
建物及び構築物(純額)	15,708	14,650
機械装置及び運搬具	22,608	22,290
減価償却累計額	△17,166	△17,679
機械装置及び運搬具(純額)	5,441	4,611
土地	8,849	8,313
建設仮勘定	1,126	1,107
その他	19,058	21,284
減価償却累計額	△13,726	△15,439
その他(純額)	5,331	5,845
有形固定資産合計	36,457	34,527
無形固定資産	3,039	3,987
投資その他の資産		
投資有価証券	45,134	33,977
長期貸付金	25	30
繰延税金資産	510	1,720
その他	1,536	1,854
貸倒引当金	△142	△107
投資その他の資産合計	47,064	37,475
固定資産合計	86,561	75,990
資産合計	217,292	204,619

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,052	14,519
短期借入金	6,512	4,307
1年内返済予定の長期借入金	849	2
未払法人税等	3,564	3,548
繰延税金負債	129	117
賞与引当金	2,819	1,455
製品保証引当金	2,337	2,097
受注損失引当金	103	—
その他	7,089	8,761
流動負債合計	41,458	34,810
固定負債		
長期借入金	4,922	5,951
繰延税金負債	8,277	4,672
退職給付引当金	1,053	1,747
役員退職慰労引当金	112	146
資産除去債務	194	197
その他	3,406	4,629
固定負債合計	17,966	17,345
負債合計	59,424	52,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	28,371	28,371
利益剰余金	116,831	121,045
自己株式	△9,215	△12,228
株主資本合計	155,544	156,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,245	9,802
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△11,622	△15,626
その他の包括利益累計額合計	622	△5,824
少数株主持分	1,700	1,542
純資産合計	157,867	152,463
負債純資産合計	217,292	204,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	107,143	110,683
売上原価	70,999	73,823
売上総利益	36,143	36,860
販売費及び一般管理費	25,298	27,836
営業利益	10,845	9,024
営業外収益		
受取利息	217	205
受取配当金	722	807
持分法による投資利益	1,396	92
投資有価証券売却益	751	1,371
その他	332	244
営業外収益合計	3,420	2,721
営業外費用		
支払利息	163	166
為替差損	899	836
売買目的有価証券運用損	38	211
控除対象外源泉税	68	—
その他	428	270
営業外費用合計	1,597	1,484
経常利益	12,668	10,261
特別利益		
固定資産売却益	15	1
投資有価証券売却益	—	2,972
特別利益合計	15	2,973
特別損失		
固定資産除却損	138	99
固定資産売却損	2	0
減損損失	102	437
投資有価証券売却損	—	407
投資有価証券評価損	198	1,005
事業整理損	—	318
会員権評価損	60	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	100	—
その他	—	87
特別損失合計	603	2,355
税金等調整前四半期純利益	12,080	10,878
法人税、住民税及び事業税	3,762	4,943
法人税等調整額	△356	△1,458
法人税等合計	3,405	3,485
少数株主損益調整前四半期純利益	8,675	7,393
少数株主利益	135	241
四半期純利益	8,539	7,151

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,675	7,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,088	△2,441
為替換算調整勘定	△5,557	△4,140
持分法適用会社に対する持分相当額	0	11
その他の包括利益合計	△6,644	△6,569
四半期包括利益	2,030	823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,040	705
少数株主に係る四半期包括利益	△10	118

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,500	61,628	105,129	2,013	107,143	—	107,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	109	142	251	55	306	△306	—
計	43,610	61,770	105,380	2,069	107,450	△306	107,143
セグメント利益	6,585	4,129	10,714	109	10,823	21	10,845

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,129	69,207	108,336	2,347	110,683	—	110,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	111	192	70	262	△262	—
計	39,209	69,318	108,528	2,417	110,945	△262	110,683
セグメント利益	5,779	3,019	8,799	94	8,893	130	9,024

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。